

### クラブ協議会『ガバナー補佐事前訪問』担当:役員

#### ◆会長挨拶

この土日はあいにく雨続きでした。今日も梅雨末期の大雨で福岡県の災害が心配です。ただニュースによると、関東甲信越地方は梅雨明けも近いのではとのこと。待ち遠しいところです。これからビールが毎晩美味しいという方も多いと思いますが、私の夏の楽しみはもう何といっても、スイカです。早出会員の松本の会社の近くにある農協の選果場のスイカ村もオープンしました。どれが美味しいかって尋ねると、大きいほど美味しいというのでいつもでかいやつを買ってしまいます。意気揚々と家を買って帰ると、かみさんに二人じゃ食べきれない、冷蔵庫に入らないと怒られます。朝からスイカを食べ続けることとなりますがやめられません。この週末天気が良いれば、9月の記念事業の千疊敷ハイキングの下見に関係者で行ってくる予定です。

今日はゲストのお二人に早めにお出で頂き本年度の方針、委員会事業などご確認いただきました。年度の始まりに完成しているこの立派なクラブ計画書をもとに説明しました。この時期にガバナー補佐事前訪問、またガバナー公式訪問をお願いしておりますが、年度のスタートに併せて方針などお話をいただけることは大変ありがたいと思っています。これから当クラブのそれぞれの委員会事業がスタートしていきます。どれも実績を重ねてきた継続事業ですがご指導、ご助言など頂ければ幸いです。

さて、岡谷市内の小学校は創立開校150周年を相次いで迎えています。昨年は小井川小学校と長地小学校、今年は湊小学校そして、川岸小学校も秋に式典を行うそうです。川岸小学校では150周年記念誌を作成されるので、先日自然の玉手箱の原稿の依頼を受けました。藤森会員と自分で文章を書かせて頂きましたが、小口校長先生が過去の記録を調べて詳細に玉手箱について文章を書かれています。今までのプログラムで訪れた場所の一覧や子供たちの感想文、そして写真も多く入っていて何ページにもわたり、とても熱が入っています。12月に完成するので楽しみにしててくださいと言われていますが、頂きましたら例会で回覧をしたいと思えます。地区から早くも次年度2024-2025年度諏訪グループガバナー補佐任命書が届いております。このあと篠原ガバナー補佐より伝達をして頂きます。

今日は例会終了後、関係者でクラブ協議会と続きます。長時間となりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

#### ◆ゲスト・ビジター

諏訪グループ ガバナー補佐 篠原 敏 様 / ガバナー補佐事務局 高見恭司 様  
所属：茅野ロータリークラブ

#### ◆2024-2025諏訪グループガバナー補佐 山崎廣和会員へ任命書授与



#### ◆幹事報告

- ・本日例会終了後 第2回クラブ協議会開催
- ・前期会費納入のお願い（7月18日迄） ※引落し 7月18日
- ・7月18日（月）法定休日
- ・7月25日（月）夜間例会
- ・7月31日（月）ガバナー公式訪問例会 終了後集合写真撮影（ドレスコード）
- ・富士見ロータリークラブより訃報のお知らせ  
1988-1989 年度会長・1993-1994 年度分区代理を務めました 川窪純光会員(チャーター会員)が6月26日ご逝去されました(享年 95 歳)。

#### ◆篠原敏ガバナー補佐卓話



(1) 2023-2024年度 国際ロータリー第2600地区【折井正明ガバナーのプロフィール】  
所属クラブ：松本ロータリークラブ（諏訪ロータリークラブ5年在籍）  
勤務先：長野三菱電機機器販売株式会社  
職業分類：電気機器販売



生年月日 1957年（昭和32年）7月23日 現在65歳

【第2600地区標語】

手をつなぎ行動するロータリーの喜びを発信しよう！

【第2600地区の基本方針】

ロータリー行動計画をポリオ根絶活動を通じて地区全体として明確に実現する

1. 「より大きなインパクトをもたらす」
2. 「参加者の基盤を広げる」
3. 「参加者の積極的なかわりを促す」
4. 「適応力を高める」

【第2600地区の重点目標】

あと一步まで来たポリオ根絶のために私たちは行動する

1. 「ロータリーの公共イメージ向上」
2. 「広がりある参加者の基盤と積極的な参加」
3. 「ポリオ根絶と会員増強に向けてのより大きなインパクト」
4. 時代精神にのっとった他団体との協調・連携により「適応力を高める」  
「古着deワクチン」END POLIOキャンペーンに参加しましょう！

【第2600地区の活動目標】

I. クラブ&グループ

- ① 地区委員会への参加促進と地区の重点目標への積極的な地縁的連携
- ② マイロータリーの登録 60% 以上とクラブセントラルの活用
- ③ ローターアクトクラブ地位確立の支援
- ④ DEIの理解促進と会員増強（女性や若年会員の入会強化）

II. 地区委員会

- ① 「継続」と「前進」への意識的・意欲的な取り組み（次年度人事）
- ② 地区方針・重点目標の実現のための機能的連携
- ③ ローターアクトクラブ地位確立の支援

III. 寄付目標

- ① ローター財団への寄付  
年次基金への寄付 1人150ドル ポリオへの寄付 1人30ドル（Tシャツdeワクチン参加＝8ドル）  
平和センター寄付 1人200円 恒久基金への寄付 1クラブ1000ドル
- ② 米山記念奨学会への寄付 1人普通寄付金3000円と特別寄付を合わせて20,000円以上

IV. 地区運営 「継続」と「前進」のためのニューノーマルの定着

(2) 茅野から考えるこれからの地域公共交通 ～ “のらざあ” から始まる地域交通の未来～

◆茅野市における苦闘の軌跡

平成9年：廃止バス路線の代替バスに対し、補助金（市）の交付開始 平成11年：市が福祉バス「ビーナちゃんバス」運行開始 平成21年：茅野市・原村地域公共交通活性化協議会（第1回）開催 平成25年：第1回茅野市公共交通検討会議発足 平成28年5月：第9回茅野市公共交通検討会議でバス再編案を決議し解散 同年：「茅野・未来都市構想策定会議」で公共交通改善案を議論など様々な経緯を経て令和2年6月 第1回茅野市新地域公共交通検討会議発足

◆新地域公共交通検討会議の挑戦 ～ 通学通勤バスとAIオンデマンド交通のらざあ～

(1) 「新地域公共交通検討会議」の成果

・通学通勤バスの確立 ・AIオンデマンド交通 “のらざあ” の導入

(2) “のらざあ” の成果

令和4年改革（のらざあ、通学・通勤バス）の成果 導入前の「旧交通体系」と導入後の「新交通体系」の乗車数を比較すると、令和4年度の「新交通体系」は、コロナ前の「旧交通体系」の1.4倍となっている（観光路線を除く）。

- ・子どもの朝晩の送り迎えがなくなったので、フルタイムで働けるようになった。（主婦）
- ・これまでためらっていた「免許返納」を決断することが出来た。（高齢者）
- ・部活が遅くなくても安心して帰ることが出来る。（中高生）

(3) 行政が協力（AIオンデマンドを導入）する意義と事業者の努力

「行政として産業の“イノベーション”に協力する」「タクシー事業者がいかに関心者の声を聴いて経営を改善するか？」

(4) “のらざあ” から見えてきた地域公共交通の未来 見えてきた地域交通のヒント

- ・必要とする“ヒト”のために走る！
- ・ニーズを確実に把握 ⇒ ITテクノロジーの活用！
- ・大都市と地方都市は違う 供給サイドの都合ではなく、需要者のニーズに寄り添う！
- ・全国一律の規制であるべきではない（国の責務）  
地域公共交通活性化法に基づく地方への新たな補助制度の創設

(5) 公共交通それぞれの特徴と役割分担

今後の地域交通のカギを握るのは、「ニーズの峻別」+「デジタル化」+「自動運転化」である！



◀例会終了後  
クラブ協議会



クラブ協議会 ▶  
終了後  
35周年  
準備委員会



ラッキーナンバー・ニコニコBOX・出席報告

- ラッキー NO.81 秦 邦洋会員 ニコニコするメッセージをお寄せ下さい
- ニコニコBOX 50,000円
- 出席報告  
会員数 47名 出席 33名 欠席 14名  
出席率 70.21%

今週のプログラム 7月24日(月) PM6:30  
マリオ／家族夜間例会 “はじめまして”

次週のプログラム 7月31日(月) PM0:30  
マリオ／ガバナー公式訪問例会